

予防接種実施における確認チェックリスト

予防接種の間違いを防ぐには、1人1人の入念な“確認”が何よりも大切です。

1. 受付時の確認事項

- 被接種者の名前（フルネーム）、生年月日、年齢、住所を確認した。
- 接種しようとするワクチンの種類を確認した。
- 母子健康手帳の予防接種ページにおいて、接種するワクチンの欄が空白（まだ接種されていない）であることを確認した。
- 直前の予防接種実施日から適切な間隔があいているかを確認した。
- 検温をした。

2. 予診時の確認事項

- 被接種者の氏名（フルネーム）、生年月日、年齢を確認した。
- 接種しようとするワクチンの種類を確認した。
- 被接種者が接種しようとするワクチンの接種対象年齢であるか確認した。
- 直前の予防接種実施日から適切な間隔があいているかを確認した。
- 被接種者が接種しようとするワクチンが決められた接種回数であるか確認した。
- 予診票に記載漏れがないか確認した。
- 予診を行い、体調を確認した。
- 医師署名欄に署名又は記名押印を行った。
- 保護者の承諾サインをもらった。

3. 接種時の確認事項

- 接種するワクチンの種類及び有効期限、接種量、接種方法を確認した。
- 接種器具が未使用であることを確認した。

4. 接種後の確認事項

- 接種後の使用済み接種器具を廃棄用の容器に入れた。
- 予診票、診療録、母子健康手帳などに接種日、メーカー名、ワクチンロット番号、接種量、医療機関名などを記載した。

※ 「予防接種における間違いを防ぐために」国立感染症研究所感染症疫学センター
(<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000780535.pdf>)
も、業務の参考にしてください。